

抄は詳なれを畧之延喜式三十七卷曲禮
の条に出羽國二種耳草又介鈴羊角に十
貝とあり和名集曰耳草和名あはれ奥州
は阿りと云々尚ほよもあへり（さ事勿論を
また今ハ和名とに志る人なり）鈴羊ハ綿
山より稀に見る人もありと云や羽鳥ハ或
又而王子亦よて室の中に駒の角といふ
ものあり鈴々々ハ鈴羊角もや仗ハ玄憲
刀戟の趣多之又同とい名々の名目之玄士
秋田は三百又十人雄勝は二百又十人出羽

府に記る人結玄秋田は記る又十人雄勝は
二る人玉府は結玄なり——玄士結玄合千六る
又十人介に玉府は玄而の大穀一人小穀三
人至帳三人以上七人を加てあむ千六る又
十七人ありあ件は例玄一ふ六る又十七人
といふ是之授尉秋田は七人雄勝は六人玉
府に七人合二十人旅師秋田は十六人雄勝
は八人玉府は十六人合三十二人又長秋田は
二十人雄勝は十六人國府に二十人合四十
人列士秋田は三百又十人雄勝は二百又十人